

平成30年度 奈良市指定文化財の指定等について

1. 経過

- 平成31年2月19日（火） 2月定例教育委員会において、奈良市指定文化財の指定と、追加指定及び一部解除について、奈良市文化財保護審議会に諮問。
- 平成31年2月25日（月） 奈良市文化財保護審議会から市教育委員会あて答申。
- 平成31年3月26日（火） 3月定例教育委員会において、奈良市指定文化財2件の指定と、1件の追加指定及び一部解除を決定。

この結果、奈良市指定文化財の総数は151件となった。

2. 新指定物件 建造物1件・工芸品1件

① ^{ながおじんじやのうぶたい}長尾神社能舞台 ^{とう}1棟

所有者：長尾神社（奈良市阪原町1625） 時代：明治時代（舞台）、昭和前期（楽屋及び橋掛）

奈良市東部地域に分布する^{かやぶき}茅葺の舞台形式の建物のうち、^{はしがかり}舞台、橋掛、楽屋からなる整った能舞台形式を伝える唯一の遺構として価値が高い。現在は秋祭りに氏子が奉納するジンパイ、スモウと呼ぶ民俗芸能を演じる舞台として使用されている。

② ^{からくさもんみつあしそうじこうろ}唐草文三足双耳香炉 ^{ごう}1合

所有者：^{こうにんじ}弘仁寺（奈良市虚空蔵町46） 時代：江戸時代

^{あかはだやき}赤膚焼の陶工である^{すみよしやいわぞう}住吉屋岩蔵が文政3年（1820）に作った香炉である。「文政辰ノ三年」「住吉屋岩蔵」「赤膚」などの銘文が彫られている。赤膚焼の隆盛の礎を築いた岩蔵の希少な在銘遺品で、制作年代も明確なことから資料的価値が高く、奈良の陶芸史上重要な作品である。

3. 追加指定及び一部解除物件 天然記念物1件

③ ^{かすがたいしゃけいだい}春日大社境内のイチイガシ^{きよじゅぐん}巨樹群 ^{かぶ}33株（追加指定1株、指定解除2株）

所有者：春日大社（奈良市春日野町160）

春日大社境内には、樹齢200年以上のイチイガシ数百本が群をなして生育しており、この地域の原植生がイチイガシ林であったことを示していて学術上価値が高い。

これまでに奈良市指定文化財に指定した34株に加えて、地上1.5mにおける幹の周囲が3m以上あり、樹勢も良好で、巨樹の要件を満たす1株を新たに指定した。また、台風により折損し伐採された1株と、樹勢の回復が困難な1株の指定を解除した。



① 長尾神社能舞台



② 唐草文三足双耳香炉



③ 春日大社境内のイチイガシ巨樹群 (追加指定した樹木)

奈良市所在の指定文化財等

平成31年4月1日

1. 指定文化財 1092 件

[件数]

分類		国指定			県指定	市指定	総数	
有形文化財	建造物 ()内は棟数	国宝 31 (35)	重要文化財 74 (128)	計 104 (163)	41 (80)	28 (33)	173 (276)	
	美術 工芸品	絵画	10	70	80	18	36	134
		彫刻	49	216	265	35	33	333
		工芸品	28	115	143	16	9	168
		書跡・典籍	7	79	86	6	4	96
		古文書	4	35	39	5	0	44
		考古資料	4	16	20	1	6	27
		歴史資料	0	6	6	5	4	15
	小計	133	611	743	127	120	990	
無形文化財		重要無形文化財			1	1	0	2
民俗文化財	有形民俗文化財	重要有形民俗文化財			2	2	7	11
	無形民俗文化財	重要無形民俗文化財			3	10	3	16
記念物	史跡	特別史跡 2	史跡 25	計 27	5	8	40	
	名勝	特別名勝 2	名勝 6	計 8	0	0	8	
	天然記念物	特別天然記念物 1	天然記念物 5	計 6	6	13	25	
	小計	特史名天 5	史名天 36	計 41	小計 11	小計 21	小計 73	
総数		790			151	151	1092	

※ 有形文化財（建造物）の国指定の合計件数が国宝及び重要文化財の各件数の和と一致しないのは、1件に国宝・重要文化財の両方を含むものがあるためである。

※ 有形文化財の件数は、独立行政法人国立文化財機構（住所東京都）が所有し奈良国立博物館及び奈良文化財研究所が保管するものを含む。

2. 登録有形文化財 105件
 (建造物 103件 [32箇所]
 書跡・典籍 1件
 歴史資料 1件)

3. 選定保存技術 3件 [国3件、県0件]

4. 旧村指定文化財 72件 [旧月ヶ瀬村指定文化財30件、旧都祁村指定文化財42件]

* 国選定保存技術、県指定文化財、市指定文化財と重複している12件を除く。